

大事協だより

大島地区公立小・中学校事務職員協会 研修部
第32号 2011年3月1日発行

執行部から（年度末によせて）

会長 奄美市立大川小中学校 泉 一

大事協会員の皆さんこんにちは、緋寒桜も葉桜になりたいふ春めいて来ましたね。いかがお過ごしですか。皆さんの協力で大事協も無事に年度末を迎えることができ、うれしく思っています。本年度初めて本地区に来られた先生方、奄美に慣れたでしょうか？大事協が皆さんの支えに少しでもお役に立てたのであればよいのですが・・・。

そして、今年度定年退職を迎える2名の先生方、おめでとうございます。永い間私たち後輩を育てていただきありがとうございます。これから第2の人生を元気に歩んで行くことと思いますが、今後も大事協を見守っていただけたらありがたいです。よろしくお祈りします。会員の皆さん、年度末を迎え忙しくなります。また、来年度から旅費の請求事務の取扱いが変わるようです。体調管理をしっかりと、来年度へ向け張り切っていきましょう。ありがとうございました。

<各地区からのたより>

今回の原稿は、①徳之島町②喜界町③与論町から届きました。ありがとうございました。次号は、来年度6月発行予定です。

各市町村の研修会での様子、様々な取り組み、写真、趣味等の原稿もお待ちしています。

(1) 喜界町事務職員会

喜界町立坂嶺小学校 徳 哲也

有人島で唯一観測できた皆既日食や二人目のプロ野球選手誕生（前任校で当時、野球部だった西武の美沢将野手）、口蹄疫による優秀種牛の一時避難、白ごま日本一の産地、アサギマダラの越冬地として、最近では、マスコミにも「喜界島」という名前をよく耳にする機会が増えました。

喜界島は、観光ではなく農業振興で地道に産業育成をしてきました。地下ダムも整備され、土地改良された畑にはスプリンクラーで灌水されたサトウキビがいきいきと育っています。また、おいしい黒糖と焼酎の産地でもあります。大型スーパーも4軒あり、夜も11時まで営業しています。そして、人口の割に美味しい居酒屋が多いことにビックリします。どこに行くのも20分以内で、鹿児島と奄美大島に直行の船と飛行機があり、比較的便利な島です。

★

では、本題に…。小学校9校（2校兼務）、中学校3校に事務職員10名が配置されています。半分が20代。本町新規採用3名、本町期限付採用4名と、とにかくフレッシュです。本年度の研究テーマを「フローチャートを活用した相互支援組織の実践化と備品の共有化」として毎月1

回（4月は認定事務のため3回）実施しています。近年は、共同実施研究指定もあり、事務職員未配置校支援を中心とした研究・実践をしてきました。

①町費・財務会計②町補助金請求・報告③備品監査④備品購入・管理⑤次年度予算要求の各フローチャートを作成して、未配置校に組織的に支援しています。特に、町費の支出負担行為書の作成を兼務校以外の事務職員が支援していることが特徴的だと思います。また、諸手当認定相互審査は2ブロック化し、年度当初事務をはじめ年末調整書類予備審査等の初任者支援は、経験3年目以上の職員が支援する2ペア制（2人×5組）で分け相互支援しています。

★

また、喜界町学校再編が計画（12月議会で可決）され、平成24年4月に小学校9校を2校へ、中学校3校を1校へ再編する予定です。予算が減少する中、有効に予算を活用しようと、購入にあたっては小学校部会・中学校部会で購入案を検討し、共有できるものはないか話し合いました。現在所有する備品については、町内小中学校の備品一覧を1つのエクセルファイルにまとめ、町の共有フォルダに保存することで、各学校の備品を各事務室のパソコンで閲覧・貸借が簡単に出来るように、夏休みのパソコン研修を兼ねて整備しました。また、2月には、本年度学校再編された垂水中央中学校を研修視察し、再編事務実践例や課題を研修し、事務職員会という組織を通し、各校で足並みを揃えた再編準備に役立てていきたいと考えています。

その他の特色ある活動として、年5回の『じむだより』の発行、新規採用の多い本町赴任者向けの年度当初の事務書類記入例『はじめの一步』と手引書『ひよこのあゆみ』の改訂、過年度返納を未然に防止しようと作成した『諸手当受給確認申告書』、各校の事務室見学等充実した内容で午前10時から始めても時間不足になってしまいます。

また、本年度から予算編成（各校総額に対する各費目への分配）を各学校で出来るようになりました。各校事務室配置のパソコンを活用し、事務職員間のメールでの連絡や情報共有もスムーズです。恵まれたメンバーと環境でお互い連携しながら学校事務に楽しく取り組んでいます。

(2) 与論町事務職員会

与論町事務職員会について

与論町立与論中学校 和田 賢

与論町事務職員会は、3小学校1中学校の4名で、月1回の研修会を行っている。事務職員会の目標として掲げているのが「各学校間の事務の統一化と相互理解」である。

なぜ「事務の統一化と相互理解」を掲げたかという理由が、以下の理由がある。まず大島地区に新規採用や期限付事務職員が配属されることが多いため、転出した事務職員に様々な場面で聞かざる得ず、転出した事務職員の負担が大きくなるからである。事務の統一化を対応できるようになるのである。

また、事務の相互理解を深めることで、事務作業の

見落とし等を防ぐ目的がある。

ただし「事務の統一化」を図る点については、事務作業のやり方は職員によって千差万別であり、それを他者のやり方にあわせるというのは、なかなか難しいものであることは否めない。そのため現時点で執り行っていることは、各学校間での事務作業の見学（書類作成方法やファイリング等）をすることで、実際にその学校で行われている事務作業の利点や問題点を明らかにした上で、最適解を導こうとしているのである。

事務職員は、縁の下を支える存在であり、そこが駄目であると学校現場に多大なる影響を与える仕事である。だからこそ、学校にいる誰もが安心できるよう、これからも研鑽に努めていきたい。

(3) 徳之島町事務職員会

文責： 徳之島町立亀徳小学校 白石 由香

こんにちは。最低気温が 10℃を下回ることが少ない徳之島でも、今年の冬はとっっても冷え込んで寒い毎日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。2月に入り、桜の小さいつぼみもふくらんできて、寒さのなかに春の足音をかすかに感じ始めました。



さて、私たち徳之島町事務職員部会は、ピカピカの1年生が2名、2年生が2名、3・4・5・6年生が各1名に頼りになる先輩方が2名の10名で仲良く活動しています。全体会とブロック別（北・南）に分かれてのブロック別研修会を年間10回実施しており、『事務情報の共有化と共同実施研究』に取り組んでいます。経験年数の若い事務職員が多い徳之島町では、お互いの仕事を確認しながら安心につなげられる研修会の場は大変貴重な時間です。各学校で発生した事例やその時々事務処理について、先輩方のアドバイスをいただきながら全員で「？」を「わかった！」に変えていける温かい雰囲気のなか、すすすくのびのびと過ごしています。



1月末には管外研修視察を実施し、1日目は霧島市霧島小学校で保護者負担軽減に向けた取組を学び、2日目は共助会と福利厚生事務センターの視察のあと、薩摩川内市共同実施連絡協議会へ参加しました。霧島小学校は新燃岳から一番近い学校ということで噴火と地鳴りに怯えながらの研修となりましたが、現状に対する疑問を積極的に持つことの大切さを学ぶとともに自然の偉大さも感じる事ができたとても充実した管外視察でした。それぞれ受けた刺激は違うと思いますが、今後も仲良く支え合いながら頑張っていきたいと思えます。

しばらくは寒い日々が続きますが、お体を大切に暖かい春をお迎えください。そして、とっっても明るく楽しい徳之島町へぜひお越しください。



新規採用者の声

- ①徳之島町 尾母小中 富山剛士 先生
花徳小 神園彩子 先生
②喜界町 志戸桶小 嶺 綾乃 先生
早町小 嶺岡啓代 先生
湾小 米山奈津美先生
③奄美市 市小中 壽 和人先生

徳之島町立尾母小中学校 富山 剛士

去年の二月に中学校卒業以来、徳之島に帰って来ることになり今では私が事務職員をやらせてもらっており、とても驚いています。初めの時期は事務職員といってもどんな仕事をするのか何一つ分からない状態だったため不安だらけでしたが、周りの事務職員の先生方に優しく指導していただき処理していくことができました。その後も始めて提出する書類がある場合は、何度も足を運び指導していただきました。先生方には忙しいときに手伝っていただき、本当に感謝しています。徳之島町は事務職員同士の連携(組織)がとても素晴らしいので、これからも続けていけたらと思っています。

尾母小中学校は小学生 18 名、中学生 3 名と少ない人数ですが元気があり仲がよく、いい子たちばかりです。昼休みには子供たちとサッカーや卓球をして汗を流しております。

私は事務職員として子供たちや地域の方々とふれ合うことの大切さを学びました。

今は期限付職員として目の前の仕事を終わらせることで精一杯ですが、目標は早く試験に合格して正式に採用されることです。チャンスは残り少ないですが、勉強の方をもっと頑張っとうにか合格したいと思います。



徳之島町立花徳小学校 神園 彩子

1・2・3 学期と過ごしてきて、この 1 年も残すところあと 2 ヶ月というところまでできました。仕事も人間関係もすべて 1 からのスタートで、とても心細かったことが今でもありありと思い出されます。そんな私がかんとか今までやってこられたのも、近隣の優しくおもしろい先生方の支えのおかげだと感謝しております。

また赴任してすぐの歓迎会では、いきなり「ワイド！ワイド！」のかけ声でワイド節がはじまり、ごちないながらもみんなと踊り歩いたりして、明るく活気に満ちた徳之島の文化がすぐ好きになりました。地域のバレーチームにも混ぜていただき、毎週一緒に汗を流しながら島の暮らしも楽しんでいるところです。地域の方々との関わりの中で、子どもと一緒に私も一回り成長していきたいと強く思います。

これまでは自分のことで精一杯でしたが、最近やっと周りにも目を向けられるようになってきました。学校で働く意味を考えつつ自分なりにできることから行動していこうと思っています。いいこと悪いことの繰り返しではありません

ますが、一日一日を大切に頑張ってきていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



喜界町立志戸桶小学校 嶺 綾乃

期限付事務職員として勤務してから、早いもので 9 ヶ月が経ちました。振り返ってみると、毎日がとても充実していて、あっという間に過ぎていったように思います。「嶺先生！」と生徒達や先生方に呼ばれる度にドキッとしていた 4 月が今では懐かしく感じます。現場では元気いっぱいの子供達と一緒に汗を流しています。一生懸命頑張る生徒達の姿に、たくさんの感動をもらい、刺激を受け、それが今の私の原動力になっています。また、学校や教育の知識が乏しい私に常に優しく親切にご指導くださる先生方にいつも助けていただき感謝しています。そして、これまで私が安心して事務職員の仕事をこなしたのは、町内の事務職員の先生方の心強いサポートが何よりも欠かせません。分からないこと親切丁寧に、分かるまでとことん教えていただき、研修会では素人目線の分かりやすい説明をしていただき、また常に質問をしやすい雰囲気作りをしてくださって、本当に感謝しています。

空港でグランドホステスとして働いていた私にとって、学校で過ごす毎日が新鮮で、毎日が感動で、本当に充実した日々を過ごさせていただきました。何とか事務職員としての仕事を覚えてきつつありますが、私の働く期限も残りわずかとなりました。限りある時間の中で子ども達のため、学校のため、自分ができる精一杯をつくして毎日を笑顔で過ごしていきたいです。



喜界町立早町小学校 嶺岡 啓代

事務職員として働きだし、早くも半年以上が経ちました。今年の 3 月まで就業経験が全くなかった私が、実際に業務をしている場へいきなり踏み込んだ為、毎日戸惑うことばかりでした。また、大抵の事務職員は学校に 1 名しか配置されないということもあって、最初のうちは仕事に関して大きな不安を抱いていました。しかし、事務の仕事やその遂行にあたって、直接、近隣校の先生が 1 から丁寧に教えてくださったことや、島内で定期的に実施されている事務職員研修会での、ブロック別に分かれた研修等のおかげで、事務職員としての、多岐に渡る職務に関する多くの知識を得ることが出来ました。

学校での生活においては、分からないこと等があれば、職員が丁寧に教えてくれます。また、休み時間や昼休み等の時間には、生徒と触れ合いながら、彼らが日々成長していく様子を間近で見ることが出来、大変恵まれた職場環境であると感じています。今後も島内の事務職員と連携を図りながら、本校の職員が安心して教育活動に勤しむことが出来るよう、事務職員として適切かつ迅速

速に精緻な業務の遂行を心がけていきたいです。



喜界町立湾小学校 米山 奈津美

私が喜界島へ来て、もうすぐ1年が経とうとしています。初めての仕事や知らない土地での生活などに対する不安と、これからどんな子供達に会えるのだろうという期待を持って、緊張しながらやって来たことが思い出されます。

最初の頃は特に、何をすればいいのか、何をしているのかがよく分からないままに、とりあえず教えていただいたことをこなすのみで、全く余裕がありませんでした。

しかし、少しずつ意味が分かってくると、仕事も学校での生活も楽しくなってきました。これは、どんな些細なことでも、いやな顔一つせずに優しく教えてくださる先輩方のおかげであり、本当に感謝しています。

また今年、いろいろな人と出会ってその温かさに触れたり、運動会などの懐かしい行事に参加したりと、いろいろな経験をすることができました。その中で、人や地域とのつながりの大切さに気付くことができる良い機会を与えていただきました。

まだまだ至らない点ばかりで、多くの方に迷惑をかけていますが、私も先輩方のように頼りになる事務職員となれるよう日々勉強し、自分にできることに一つ一つ取り組んでいきたいと思ひます。



奄美市立市小中学校 壽 和人

学校事務職員として働き始めて1年が経とうとしています。この一年間いろいろな経験ができたと思ひます。4月、緊張して学校に行きしどろもどろになりながら自己紹介をし、意味が分からないまま仕事が始まったのを懐かしく思ひます。あの頃は、「何が分からないのかさえ分からない！！」という状況で書類とにらめっこしていました。それでもここまでやってこられたのは、サポートして下さった学校の先生、手取り足取り教えて下さった事務職員の先輩方のおかげです。とても感謝しています。

夏休みには市の定期監査に見事に当たり、何日もかけて汗だくになりながら学校中の備品を確認してまわり、「いいダイエットになる」と、自分に言い聞かせて頑張りました。監査が終わってほっとしていたら今度は、奄美豪雨災害に遭い学校から帰れない日が2~3日続きました。学校からの帰りは、漁船に乗りもの凄いい揺れに耐えながらの帰りになりました。いつも通っていた道なのに全く違う世界に行ったかのように変わっていてとてもビックリしたのと、それ以上に恐怖に感じました。奄美はとても自然がいっぱいでいいところなのですが、今回の災害で自然の怖さをあらためて知ることができました。

この1年間本当にいろいろ経験しました。あっという間の1年でした。この1年を無駄にしないためにも学校職員として、事務職員としてまだまだ未熟ですがいろいろなことを学び、吸収して学校現場を盛りあげていきたいと思ひます。

最後に編集者の権限？で私の一面を載せたブログがありますので紹介します。(知根小学校 丸田高巳)

①学校とは関係ない保育園でのおゆうぎ会にて



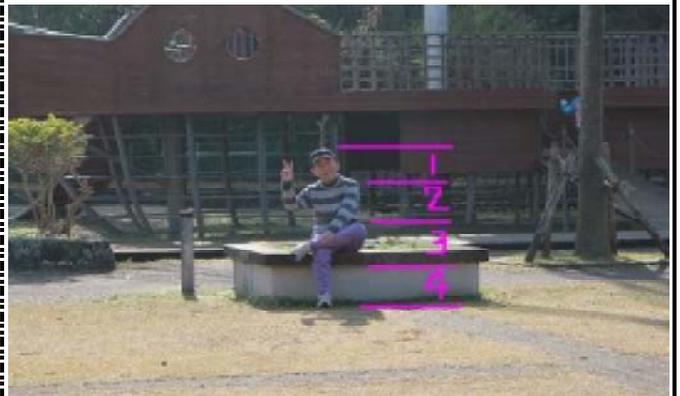
ブログ設営者のコメント

コマネチ！

美しい体のフォルム？

丸〇先生、あなたはある意味最高です！

②歩こう会にて



4頭身？

知根小のマ〇タ先生、日曜出勤デス。。

本職のパチンコ休んでまで・・・

先生のカガミ！

「よっ！、よんとうしん！！」

ちなみに座っているの、本当は

4.5頭身デス。。

私の感想・・・目盛りを入れるなよな

○大事協は次のような意義のもと 設立・活動しています○

＜協会設立の基本理念に則り、更なる発展を目指して活動する。＞

- ①大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪(わ)」を目標とする。
- ②本会は、地区内の緩やかな繋がり 親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③大島地区内における情報交換の場とする。
- ④実務研修の充実を図る。